

令和6年度 昆虫採集クラブ活動記録

第1回例会の内容

2024年6月8日(土) 晴 24℃

令和6年度の昆虫採集クラブの活動が始まりました。

今年度は新たに12家族が入会し、継続会員と合わせて25家族76名の会員で活動していきます、みなさまよろしくお願いたします。

今回の例会は「ガイダンス・昆虫の体の仕組みと標本の作り方」でした。ガイダンスでは昆虫採集クラブの活動の目的と、活動の中で知ってほしいことや考えてもらいたいこととお話ししました。その後で標本の作り方、採集のポイント、昆虫の体の仕組みについて解説しました。

スライドの後は園内で採集を行いました。当日は晴天に恵まれ、この時期にしては少し暑いぐらいでした。採集コースはニホンアナグマ前からNATURE LOOPに入り、カエル池からIWAYAMA LABまで行き、その後でWANPAKU FIELDに行きました。初回ということもあり園内の各ポイントを通りながらぐるっと1周したコースで採集しました。

NATURE LOOPではイチモンジカメノコハムシやケブカトゲアシヒゲボソゾウムシなど葉の上で見られる小さな甲虫たちがいました。ヤブキリやヒメギスなどキリギリスの仲間はまだ幼虫でした。



イチモンジカメノコハムシ



ケブカトゲアシヒゲボソゾウムシ



ヤブキリ (幼虫)



ヒメギス (幼虫)

IWAYAMA LABではヒメクロサナエやシオヤトンボなどトンボの仲間や水場が近いのでカゲロ

ウの仲間がいました。



ヒメクロサナエ



シオヤトンボ

キリン下からWANPAKU FIELDへ向かう道では、園内では数が少ないクロハナムグリやこの時期にしか見られないウスバシロチョウが捕れていました。ウスバシロチョウの成虫は年に1度、5~6月にしか見られません。数的にもう終盤だったので次の例会ではもう見られなくなっているはず。ちなみに別名ウスバアゲハとも呼ばれていて、アゲハチョウの仲間なんですよ！



クロハナムグリ



ウスバシロチョウ

わんぱく フィールド
WANPAKU FIELDではクモガタヒョウモンやコムスジなどチョウの仲間やカワトンボが捕れて
いました。



クモガタヒョウモン



コムスジ

昆虫は例会と例会の間のわずかな期間^{まかん}でもガラッと捕れる虫の種類^{こんちゅうそう}が変わることがあります。今回よく見られた昆虫でも次の例会には見られなくなることもよくあります。季節^{きせつ}の移り変わり^{うつ}と昆虫相^{へんか}の変化^{たの}も楽しみながら採集してみてください。

その他の昆虫たち



ニワハンミョウ



コトラガ



クヌギカメムシの一種



ヒシバッタ



ミドリカミキリ



キイロクビナガハムシ



アオオサムシ



ヤブキリ (幼虫)



スジグロシロチョウ



ハナアブの1種



ルイスコメツキモドキ



カゲロウの1種



ハバチの1種



アリスアブ



アオゴミムシ



ヒゲナガオトシブミ



カワトンボ



キタテハ



セイヨウミツバチ



カツオゾウムシ